

コロナ感染症対策、豪雨災害対策をはじめ、  
皆様の健康、福祉、安全、教育、生活、そして経済を守るため  
**県政の躍進に努めて参ります！**



20年10月 決算特別委員会 委員長任務

2021年新春の幕開けにあたり、本年も変わらぬご指導をお願い申し上げます。

「新型コロナウイルス感染症」は、昨年末から全国的に拡大傾向にあり、県内でも感染者は増加しています。この様な事から、本年1月13日、政府は福岡県にも「緊急事態宣言」を発出しました。本県では2回目の「緊急事態宣言」となりました。

宣言では、県民の外出自粛、飲食店の午後8時までの時短営業、企業へのテレワークの要請（出勤者7割減）、イベントの開催規模の制限などが求められ、人々の接触の削減により、感染の拡大を防ぐとしています。

福岡県として、医療関係者はもとより、産学官あらゆる機関と連携し、県を挙げて感染症対策に取り組んでいます。また、コロナ感染症の拡大に伴い、本県経済も大きなダメージを受けており、地元経済の活性化を図るためにも、事業者への経営支援を充実させていきます。加えて、教育の機会均等の保障、介護・福祉への支援、生活困窮者・社会的弱者への支援も引き続き進めて参ります。今後とも、諸対策に全力を尽くして参ります。

2021年1月 新春

福岡県議会議員 原中誠志

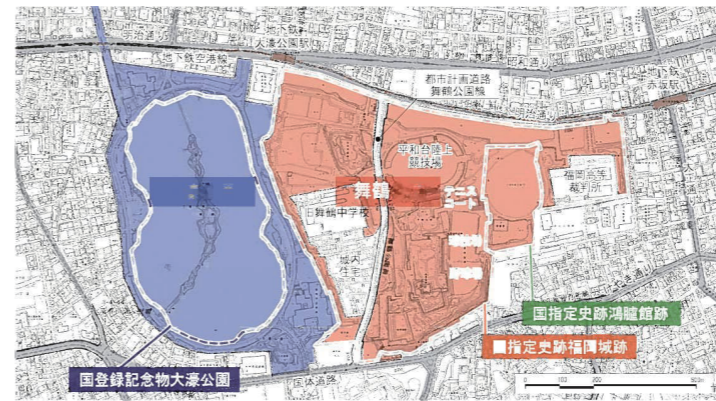


2020年3月『2月県議会』議長席

## 「大濠公園」+「舞鶴公園」=『セントラルパーク構想』を推進します。

「福岡県総合計画」（2012年3月）、「福岡市総合計画」（2012年12月）という上位計画に基づき、2014年6月に『セントラルパーク構想』が策定されました。県管理の「大濠公園」と市管理の「舞鶴公園」を一体的に活用し、世界に冠たる公園に整備するというものです。公園・緑地、環境、文化財、芸術文化、観光などの関連計画と連携しながら、『セントラルパーク構想』に掲げられた両公園の一体的な活用を実現して参ります。

公園の土地所有者である財務省、福岡県、福岡市の連携が大切となり、国・県・市との連携をスムーズに進めるため、国会議員、福岡市議会議員との連携を強化して参ります。



『セントラルパーク』対象エリア



いなとみ修二衆議院議員 田中慎介福岡市議



県営「大濠公園」の南側に、福岡県が世界に誇る八女茶を基本コンセプトにした和風カフェ「大濠テラス 八女茶と日本庭園と。」がオープンし、活況を呈しています。レンタル着物に加え、お隣りの「日本庭園」につながる券売所も併設され、和のテイストを存分に楽しめる新たな観光スポットとなっています。皆様もぜひ「大濠公園」の新たな魅力を体験してください

## 県営「天神中央公園」のゲートを車いす利用者の利便性向上に改善しました。



県営「天神中央公園」には、東・西、南側に4か所の出入り口があり、オートバイの乗入禁止、自転車利用者へ手押しをお願いするために、それぞれゲートが設けられています。ところが、車いす利用者の方々が公園を利用したり、通過する際には円形のゲート（※1）を通るしかなく、一人で通過するには極めて難しい形のゲートになっていました。そこで、この車いす用の円形ゲートを改め、スムーズな通過ができるよう（※2）の様に改善しました。利用者の皆様がより利用しやすく、親しみやすい県営公園（天神中央公園、大濠公園、西公園）となるよう改善に努めていきます。



福岡県では、障がいのある皆さんがつくる商品や提供するサービスを「まごころ製品」と名付け、その販売や提供を通じて障がいのある皆さんの収入向上に取り組んでいます（写真：県議会棟での販売会）。

県内の福祉施設で働く障がいのある方の平均工賃（賃金）は月額約1万3千円と全国水準より低くなっています（就労継続支援B型事業所）。障がいのある方が地域で安心して生活するためには、収入水準を上げていく必要があります。引き続きこの取り組みを支援して参ります。